

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要			
建物名称	ダイニチ工業株式会社 配送センター第二倉庫		
建設地	新潟県新潟市南区和泉651-4,692-3		
用途地域	工業地域、22条区域		
建物用途	事務所、工場		
竣工年	2019年5月 竣工		
敷地面積	25,627.67 m ²		
建築面積	9,416.58 m ²		
延床面積	17,886.74 m ²		
階数	地上2F		
構造	S造		
評価の段階	実施設計段階評価		
評価の実施日	2018年7月31日		
2. CASBEE新潟の評価結果			
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.7}{38.0} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★			
3. 新潟市の重点項目の評価			
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.0		バリアフリー計画 Q2.1.1.3 3.0 維持管理 Q2.1.3 3.5 設備の更新性 Q2.3.3 2.6
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.5		耐震・免震・制震・制振 Q2.2.1 3.0 信頼性 Q2.2.4 2.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減 LR3.2.3.1 2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 2.0		建物外皮の熱負荷抑制 LR1.1 1.0 自然エネルギー利用 LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 3.0		節水 LR2.1.1 3.0 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 LR2.2.4 3.0 部材の再利用可能性向上への取組み LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出 Q3.1 2.0 敷地内温熱環境の向上 Q3.3.2 1.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮 Q3.2 3.0 地域性への配慮、快適性の向上 Q3.3.1 3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項			
建物の維持管理に配慮し、使いやすい建物もとなるように計画します。外壁の断熱性能を向上させ、建物外皮の熱負荷抑制に配慮して計画しています。また、躯体材料以外ではエコ建材の採用を積極的に行い、資源環境への取組に配慮します。			

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ダイエー工業株式会社 配送センター第二倉庫	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市南区和泉651-4,692-3	構造	S造
用途地域	工業地域、22条区域	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,086 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 竣工	評価の実施日	2018年7月31日
敷地面積	25,628 m ²	作成者	久和野俊裕
建築面積	9,417 m ²	確認日	2018年7月31日
延床面積	17,887 m ²	確認者	袖山真武

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.4</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>工業地域にある既存倉庫に別棟で倉庫と管理エリアを増築する計画です。4方を道路で囲われており、北、南側は田んぼが広がり、東西側には工場が隣接しています。北側の既存樹木を保全し既存環境にできるだけ配慮した建設をします。</p>		<p>その他</p> <p>特に無し</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>管理エリアの機能性を確保し、衛生面・空調面の充実を図る計画としています。照明器具にはLEDを採用し、照度分布に配慮した計画としています。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>衛生面に配慮し、清掃しやすい材料を設定しました。また、使いやすさを考慮した空間を確保しています。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>現状の環境を出来る限り維持した計画とし雨水排水を計画しています。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明の採用により、省エネを図ります。また、インバーター空調機器を使用し、省エネを図ります。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>リサイクル資材を考慮していきます。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地内に適切な駐車場を計画しています。ゴミの分別保管を考慮した施設を計画しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される